

霧島山

○概 況

5 日に御鉢付近を震源とする火山性微動が発生し、微動発生直後に火山性地震がやや多くなりました。表面現象には変化ありませんでした。

○噴煙活動の状況

霧島山で噴煙は見られず、噴気等の表面現象に大きな変化はありませんでした。

○地震活動の状況

気象台震動観測点 A 点（新燃岳の南西 1.7km）と機動観測点及び東京大学地震研究所・高千穂西観測点（御鉢の西 1.1km）で、5 日と 6 日に火山性微動をそれぞれ 1 回観測しました。継続時間は 5 日が 18 分、6 日が 1 分でした（図 2）。また、御鉢付近を震源とする火山性地震は、微動発生直後の 5 日 18～21 時にかけて 11 回発生しましたが、その他の期間は地震の少ない状態で推移しました。高千穂西観測点の 8 月の地震回数は 39 回（7 月 79 回）でした。1 日あたりの回数が最も多かったのは 5 日の 12 回でした（図 1）。

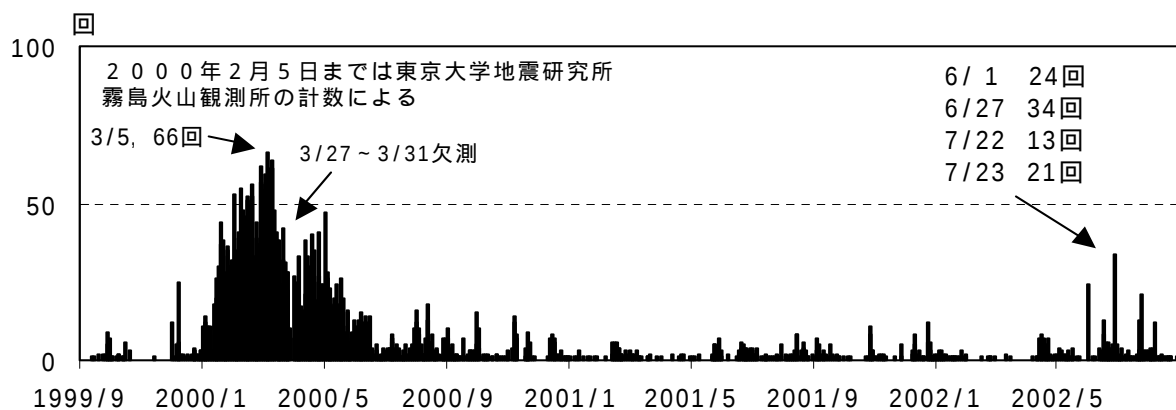


図 1 御鉢付近を震源とする地震の日別回数（1999 年 9 月～2002 年 8 月）

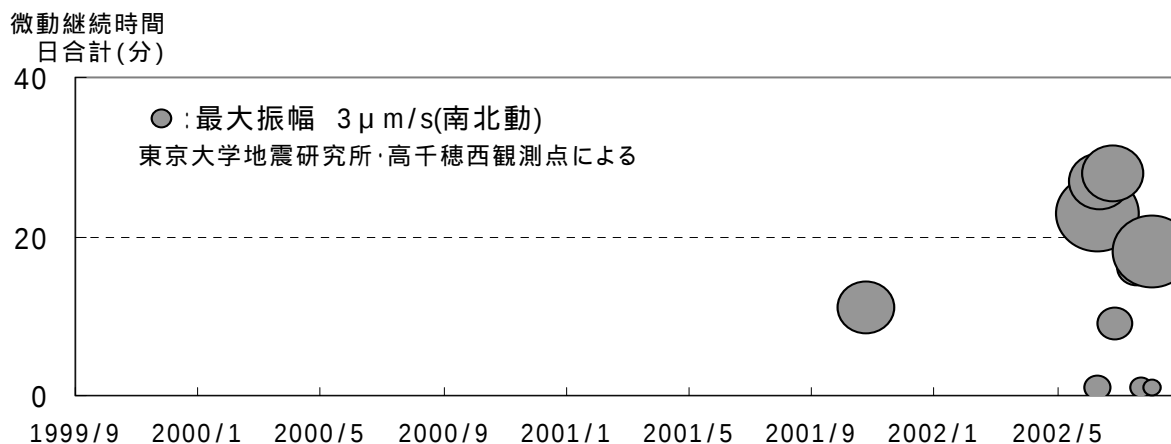


図 2 御鉢付近を震源とする微動の発生状況（1999 年 9 月～2002 年 8 月）

A 点で観測した火山性地震は、8 月は 59 回（7 月 49 回）でした。御鉢付近で火山性微動が発生した 5 日の地震回数は 6 回で、8 月の日回数では最も多くなりましたが、1 ヶ月間総じて地震の少ない状態で経過しました。（図 3）

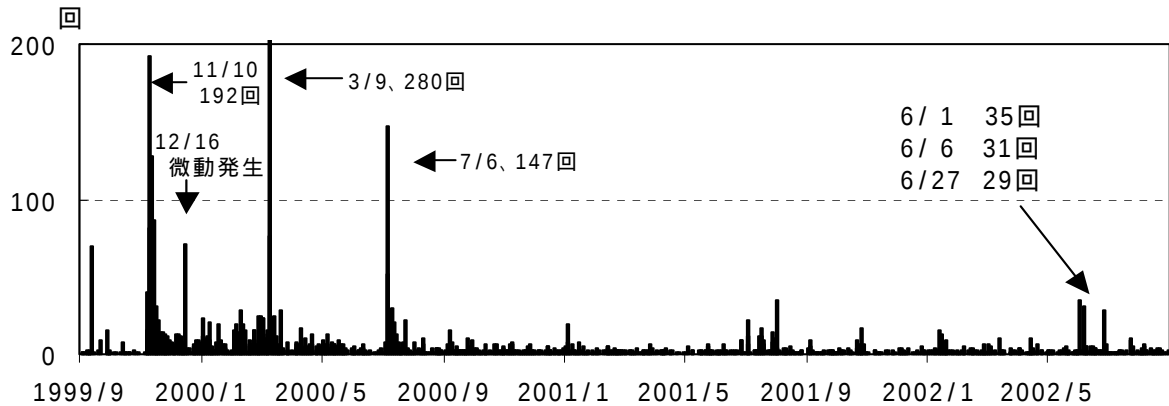


図 3 A 点の日別地震回数（1999 年 9 月～2002 年 8 月）

○現地観測の結果

8 月 1 日に実施した御鉢の現地観測では、火口底噴気地帯の噴気量や噴気の高さに変化は見られませんでした。御鉢火口底の噴気温度は、5 月から 8 月 28 日までほぼ 95 で変化は見られませんでした。

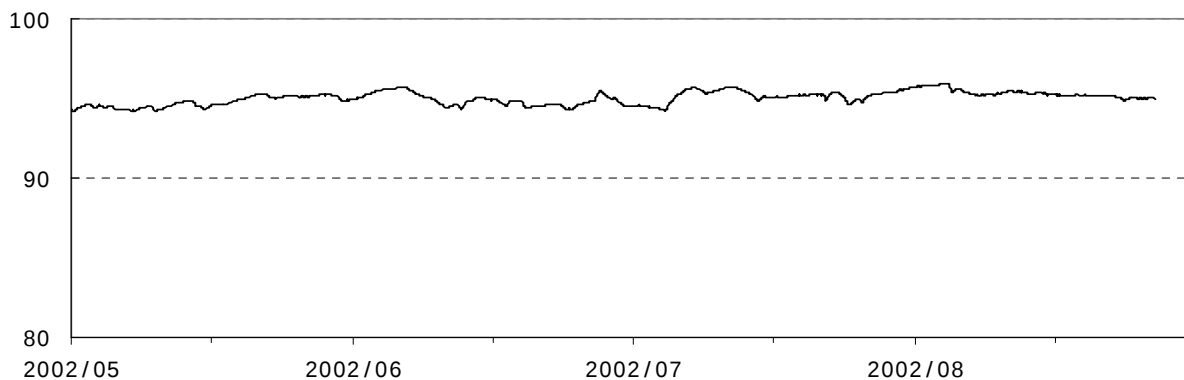
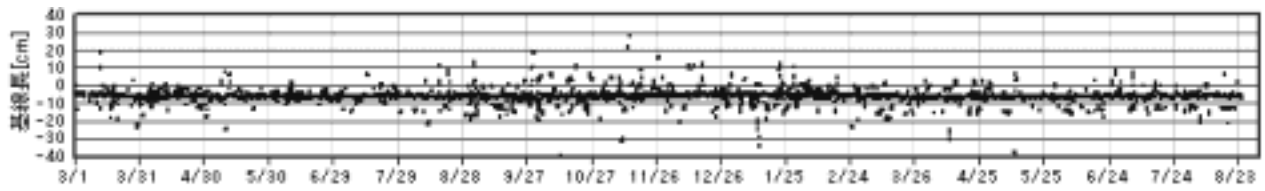


図 4 御鉢火口内の噴気温度の変化（2002 年 5 月～2002 年 8 月 28 日）

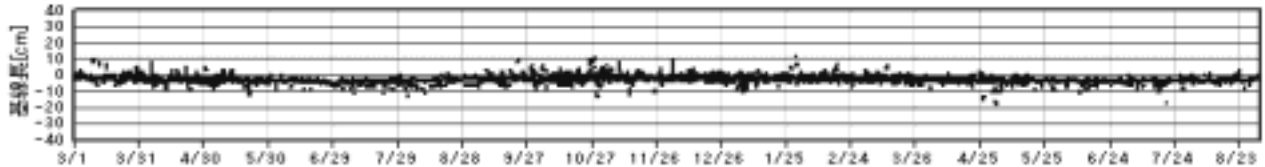
○地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原の各観測点間の基線長に変化は見られませんでした（図 4）。

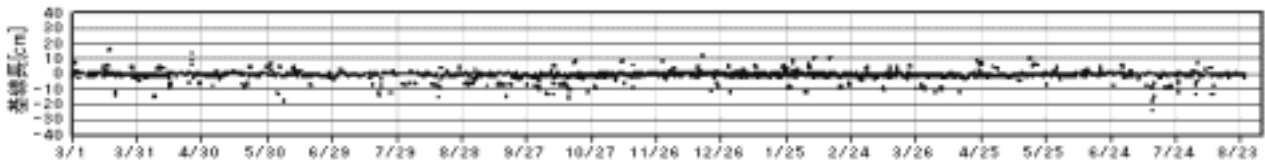
高千穂観測点は 8 月 24 日～9 月 3 日まで欠測。



御池 - 高千穂の基線長(2001 年 3 月 1 日～2002 年 8 月 31 日)



御池 - 高原の基線長(2001 年 3 月 1 日～2002 年 8 月 31 日)



高千穂 - 高原の基線長(2001 年 3 月 1 日～2002 年 8 月 31 日)

図 5 GPS による基線長

○火山観測機器の設置

福岡管区気象台は、御鉢付近で発生する火山性地震・火山性微動を詳しく観測し、今後の火山活動の状況を調査するため、7 月 31 日～8 月 3 日にかけて火山機動観測班を派遣し、地震計及び GPS 観測装置を皇子原、中岳、高千穂峰に、また空振計を高原に設置しました（図 6）。

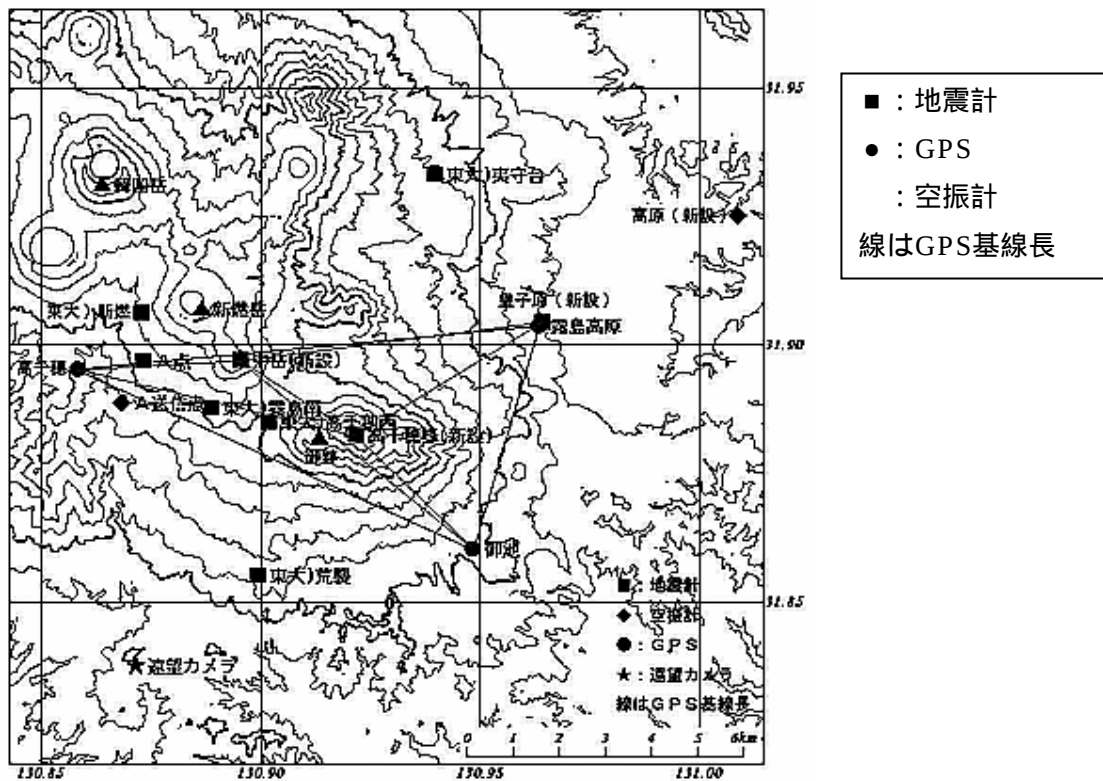


図 6 火山観測点配置図